

第343号 2013年 11月29日
弘前大学総務部広報・国際課

学術講演会・研究発表会・公開講座

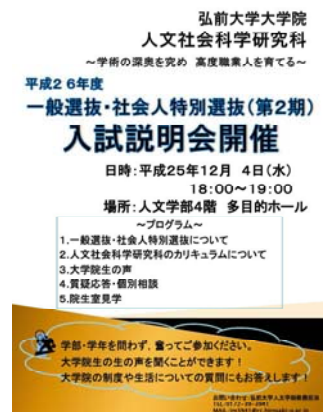
弘前大学大学院人文社会科学研究所
平成26年度 一般選抜・社会人特別選抜（第2期）入試説明会 開催のお知らせ

1. 日 時： 2013年12月4日（水）18:00～19:00
2. 会 場： 弘前大学人文学部 4階 多目的ホール
3. 対 象： 人文社会科学研究所に興味のある方ならどなたでも参加可能です（事前申込は不要です）。
4. 内 容： 学生募集要項をもとに入試の説明のほか、カリキュラムの説明、個別相談会等を行います。

～ プログラム ～

1. 一般選抜・社会人特別選抜について
2. 人文社会科学研究所のカリキュラムについて
3. 大学院生の声
4. 質疑応答・個別相談
5. 院生室見学

問い合わせ先： 弘前大学人文学部 総務グループ教務担当
TEL：0172-39-3941
E-mail：jm3941@cc.hirosaki-u.ac.jp



りんごがつなぐ国際協力 一元JICAボランティア体験談報告会
開催のお知らせ

中東のシリアで活動された元JICAボランティアによる活動報告会を開催します。「JICAボランティアとは一体どのようなものなのか?」、「開発途上国での生活、活動は?」など皆さんの疑問にお答えしますので、どうぞお気軽にご参加ください。入退場自由・予約不要です!

1. 日 時： 2013年12月4日（水）18:00～19:00
2. 場 所： 弘前大学農学生命科学部 203講義室

3. 対象：弘前大学学生・教職員の皆様
 (どなたでもお気軽にご参加下さい)
 ※ 事前申込は不要です。

4. プログラム：

- 【1】 JICAボランティア事業概要説明 10分
 【2】 体験談発表 40分
 発表者：村木 裕俊さん
 (派遣国/シリア 職種/果樹栽培)
 【3】 質疑応答 10分

5. 主催：JICA東北

協力：弘前大学農学生命科学部 教授 荒川 修

《JICAボランティアとは?》

開発途上国の国づくりの為に、自分のもっている技術や経験を
 生かし、現地の人々と協働しながら開発途上国の経済・社会の
 発展に貢献することを目的としたボランティアです。

問い合わせ先： 弘前大学農学生命科学部 荒川 修
 TEL：0172-39-3809
 E-mail：oarakawa@cc.hirosaki-u.ac.jp

JICA青森デスク
 TEL：017-735-2249
 E-mail：jicadpd-desk-aomoriken@jica.go.jp



りんごがつなぐ国際協力
 -元JICAボランティア体験談報告会-

世界の17ヶ国で活動された元JICAボランティアによる活動報告会開催。JICAボランティアは、開発途上国での生活、活動だけでなく皆さんの笑顔にも力を入れています。どうぞお気軽にご参加ください。入場無料。予約不要です！

日時：2013年12月4日(水) 18:00-19:00
 場所：弘前大学 農学生命科学部 203講義室
 対象：弘前大学学生・教職員の皆様 (ご招待でもお申し込み可)

プログラム
 1. JICAボランティア事業概要説明 10分
 2. 体験談発表 40分
 (発表者：村木 裕俊さん (派遣国/シリア 職種/果樹栽培))
 3. 質疑応答 10分

※JICA東北ボランティアは、開発途上国での生活、活動だけでなく皆さんの笑顔にも力を入れています。どうぞお気軽にご参加ください。入場無料。予約不要です！

平成25年度弘前大学学術特別賞受賞者講演会 開催のお知らせ

このたび、本学における研究水準の向上に著しい貢献をした論文を顕彰し、本学の研究水準の一層の向上を図ることを目的として公募した「弘前大学学術特別賞」について、平成25年度の受賞者が決定しましたので、受賞者による記念講演会を開催いたします。

本学において高い評価を得られた論文に関する講演を聴くことのできる機会ですので、多数の教職員の参加をお待ちしております。

1. 日時：2013年12月13日(金) 14:45~16:15
 2. 会場：弘前大学創立50周年記念会館 2階 岩木ホール
 3. 対象：本学教職員、弘前大学特別研究員、大学院生及び学生
 4. 講演：

受賞講演①【弘前大学学術特別賞(遠藤賞)受賞】
 理工学研究科 浅田 秀樹 教授
 受賞テーマ「宇宙における新奇な物質、エネルギーおよび時空構造の探査法の理論」

受賞講演②【弘前大学学術特別賞(遠藤賞)受賞】

理工学研究科 澤田 英夫 教授
受賞テーマ「含フッ素高分子ナノコンポジット類の創製と機能開発およびその応用」

受賞講演③【弘前大学若手優秀論文賞 受賞】

医学研究科 飯野 香理 助教

受賞論文「The Role of Antimüllerian Hormone as a Biomarker of Menopausal Transition」

受賞講演④【弘前大学若手優秀論文賞 受賞】

保健学研究科 門前 暁 助教

受賞論文「Characteristics of myeloid differentiation and maturation pathway derived from human hematopoietic stem cells exposed to different linear energy transfer radiation types.」

5. 申込：参加を希望される方は、所属・職名・氏名を記載し、下記申込締切までに、下記連絡先までお申し込みください。

6. 申込締切：2013年12月6日（金）

申込み・問い合わせ先：弘前大学研究推進部研究推進課
TEL：0172-39-3906
FAX：0172-39-3919
E-mail：jm3906@cc.hirosaki-u.ac.jp

平成25年度 生物共生教育研究センター公開講座
「リンゴを科学する」開催のお知らせ

今年で15回目を迎える農学生命科学部附属生物共生教育研究センター公開講座「リンゴを科学する」を弘前市岩木地区において開催します。2日間のプログラムの中に、リンゴに関する様々な話題を満載し、以下の要領で開催します。

リンゴ生産者をはじめ、どなたでも参加できます。入場無料ですので、多数のご参加をお待ちしています。

なお、本講座は青森県民カレッジの認定講座です。

1. 日時：2013年12月15日（日）9：30～16：30
12月16日（月）9：30～12：30

2. 場所：弘前市立中央公民館岩木館 大ホール
（弘前市大字賀田1-18-3）

3. 対象：リンゴ生産者をはじめ、どなたでも参加可能です。

4. プログラム：

・第1講演 12月15日（日） 9：40～10：50

演題：野生生物と共存する農業

講師：弘前大学農学生命科学部 准教授 東 信行

・第2講演 12月15日（日） 11：10～12：20



演 題：リンゴの最重要害虫モモシクイガの生態と防除
講 師：青森県産業技術センターりんご研究所 主任研究員 石栗 陽一

・第3講演 12月15日(日) 13:20~14:30

演 題：リンゴの結実生理 ～種はリンゴに必要なか？～
講 師：弘前大学農学生命科学部 助教 田中 紀充

・第4講演 12月15日(日) 14:50~16:00

演 題：リンゴ園土壌の物理的性質と無機態窒素の移動
講 師：弘前大学農学生命科学部 准教授 遠藤 明

・第5講演 12月16日(月) 9:30~10:40

演 題：リンゴ園の光合成活動と炭素貯留能力
講 師：弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター
准教授 伊藤 大雄

・第6講演 12月16日(月) 11:00~12:10

演 題：リンゴ30年余の施肥試験と草生栽培から学んだもの
—根の生長、草種の意味、共生菌の活用、肥料の種類・施肥法—
講 師：弘前大学名誉教授 塩崎 雄之輔

5. 申込み：下記申し込み先まで、お電話でお申し込みください。
人数把握のため、可能な限り下記申込締切までのお申込みをお願いしております
が、事前申込がなくても、当日会場にて受付を済ませることで聴講いただけます。

6. 申込締切：2013年12月13日(金)

7. 受講料：無 料

8. 主 催：弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター・弘前市

申込み・問い合わせ先：弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター 藤崎農場
TEL：0172-75-3026

**2013年度弘前大学教育学部附属特別支援教育センターミニセミナー
「自閉症児の言語獲得をめぐって 一方をめぐる議論を中心に」 開催のお知らせ**

自閉症スペクトラム障害児・者の言語獲得については、いくつかの議論がなされています。今回は、そのなかでも、「自閉症児が方言を話さない」という噂の真偽を検証する調査研究を中心に、自閉症スペクトラム障害児・者の言語獲得のメカニズムに迫っていきます。

前半は当センター主任相談員である松本からの調査研究報告、後半は自閉症スペクトラム障害のある当事者をお呼びして、直接、言語獲得をめぐってお話を伺いたいと考えています。

1. 日 時：2013年12月15日(日) 13:00~16:15
(12:30~ 受付開始)

2. 場 所：弘前大学教育学部 中教室

3. 対 象： 教師・保育士等、発達障害児の支援に関心がある方ならどなたでも参加可能

4. プログラム：

12:30～ 開場、受付

13:00～14:30 ① 自閉症児の言語獲得と方言について
講 師： 松本 敏治
(弘前大学教育学部教授、当センター主任相談員)

14:45～16:15 ② 当事者を交えた言語獲得をめぐる意見交換

5. 参加費： 無 料 (事前申込は不要です)

6. その他： 臨床発達心理士の方は、資格更新研修会として参加いただけます。
資格更新ポイントがそれぞれ0.5Pになります。

7. 主 催： 弘前大学教育学部附属特別支援教育センター

共 催： 日本臨床発達心理士会東北支部

問い合わせ先： 弘前大学教育学部附属特別支援教育センター 増田
E-mail: tmasuda@cc.hirosaki-u.ac.jp

「知財塾」及び「地域共同研究センター事業説明会」 開催のお知らせ

このたび、知的財産本部及び地域共同研究センターでは、本学の客員教授である弁理士を講師としてお迎えし、下記のとおり知財塾を開催いたします。また、引き続き同会場にて地域共同研究センター産学官連携コーディネーターが、センターの活動内容を広く周知するため、事業内容の説明を行います。多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：【本町地区】2013年12月16日(月)
16:00～17:40

【文京地区】2013年12月17日(火)
9:00～12:00

2. 会 場：【本町地区】弘前大学大学院医学研究科基礎棟
1階 大会議室

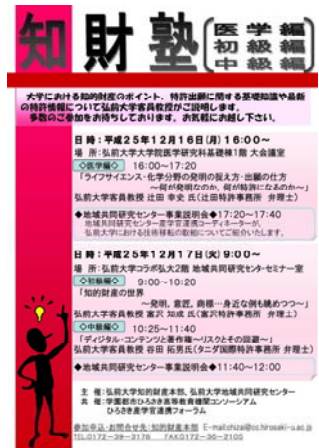
【文京地区】弘前大学創立60周年記念会館 コラボ弘大
2階 セミナー室

3. プログラム：

【本町地区】

◇医学編◇ 16:00～17:20

内 容： 「ライフサイエンス・化学分野の発明の捉え方・出願の仕方
～何が発明なのか、何が特許になるのか～」



知財塾 (医学編) 初級編 中級編

大学における知的財産のポイント、特許出願に関する基礎知識や最新の特許情報について弘前大学客員教授がご説明します。多数のご参加をお待ちしております。お気軽にお申し込みください。

日 時：平成25年12月16日(月) 16:00～
場 所：弘前大学大学院医学研究科基礎棟1階 大会議室

◇医学編◇ 16:00～17:20
「ライフサイエンス・化学分野の発明の捉え方・出願の仕方」
～何が発明なのか、何が特許になるのか～
弘前大学客員教授 田中 幸史 (注特許事務所 弁理士)

◆地域共同研究センター事業説明会◆17:20～17:40
地域共同研究センター産学官連携コーディネーターが、弘前大学における産学連携の取組について紹介いたします。

日 時：平成25年12月17日(火) 9:00～
場 所：弘前大学コラボ弘大2階 地域共同研究センターセミナー室

◇中級編◇ 9:00～10:20
「知的財産の世界」
～発明、意匠、商標～身近な例も盛り込み
弘前大学客員教授 渡辺 知成 氏 (審判特許事務所 弁理士)

◇初級編◇ 10:25～11:40
「デジタル・コンテンツと著作権～IPとその保護～」
弘前大学客員教授 谷田 祐男氏 (タニガタ特許事務所 弁理士)

◆地域共同研究センター事業説明会◆11:40～12:00

主 催：弘前大学知的財産本部、弘前大学地域共同研究センター
共 催：学歴総合ひらきき高等教育連携コンソーシアム
ひらきき産学連携フォーラム

参加申込・お問い合わせ先：知的財産本部 E-mail:ccip@cc.hirosaki-u.ac.jp
TEL:0182-239-2118 FAX:0182-239-2100

講師：弘前大学客員教授 辻田 幸史 氏
(辻田特許事務所 弁理士)

主催：弘前大学、知的財産本部、地域共同研究センター

共催：学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム、
ひろさき産学官連携フォーラム

◇地域共同研究センター事業説明会◇ 17:20～17:40

テーマ：「弘前大学における技術移転の取組について
～研究成果を社会に還元するために～」

説明者：地域共同研究センター産学官連携コーディネーター 工藤 重光

主催：弘前大学地域共同研究センター

【文京地区】

◇初級編◇ 9:00～10:20

内容：「知的財産の世界～発明、意匠、商標…身近な例も眺めつつ～」

講師：弘前大学客員教授 富沢 知成 氏 (富沢特許事務所 弁理士)

◇中級編◇ 10:25～11:40

内容：「デジタル・コンテンツと著作権～リスクとその回避～」

講師：弘前大学客員教授 谷田 拓男 氏 (タニダ国際特許事務所 弁理士)

主催：弘前大学、知的財産本部、地域共同研究センター

共催：学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム、
ひろさき産学官連携フォーラム

◇地域共同研究センター事業説明会◇ 11:40～12:00

場所：弘前大学創立60周年記念会館 コラボ弘大2階 セミナー室

テーマ：「弘前大学における技術移転の取組について
～研究成果を社会に還元するために～」

説明者：地域共同研究センター産学官連携コーディネーター 工藤 重光

主催：弘前大学地域共同研究センター

4. 対象：本学の教職員、学生、一般の方

5. 参加費：無 料

6. 申込み：参加を希望される方は、氏名、所属・役職、連絡先を記載し、申込締切までに
下記申込先までお申し込みください。

**地域共同研究センター
事業説明会**

主催：弘前大学地域共同研究センター

弘前大学地域共同研究センターは、大学の技術移転の窓口で、地域の皆さまと共に地域の発展に貢献することを目的として1999年、地元産業界の皆さまとの協賛・共同研究の拠点として「種子」の育成に努めると同時に、地域に貢献する人材の育成を推進してまいります。本センターの活動の場を広く開き、地域の皆さまの参加を歓迎いたします。

「弘前大学における技術移転の取組について
～研究成果を社会に還元するために～」
地域共同研究センター 産学官連携コーディネーター 工藤 重光

【本町地区】 [知財塾] 〇医学編(16:00-17:20)〇 に引き続き開催します
日 時：平成25年12月16日(月)17:20-17:40
場 所：大学院医学研究科新棟1階 大会議室

【文京地区】 [知財塾] 〇初級編(9:00-11:40)〇 に引き続き開催します
日 時：平成26年12月17日(水)11:40-12:00
場 所：弘前大学コラボ弘大2階 地域共同研究センター セミナー室

知財塾及び地域共同研究センター事業説明会
お申込み用紙 平成25年12月12日(木)

FAX:0172-36-2105 / chizai@cc.hirosaki-u.ac.jp		事務局	文京地区
弘前大学知的財産本部 1F		(12/16)	(12/17)
氏 名	所属・役職	参加希望	参加希望
氏 名	所属・役職	参加希望	参加希望
連絡先	TEL		
	E-mail		

参加申込：印刷係 佐藤 弘典 電話 0172-36-2105
TEL:0172-39-3178 FAX:0172-36-2105

7. 申込締切： 2013年12月12日（木）

申込み・問い合わせ先： 弘前大学知的財産本部

TEL： 0172-39-3178

FAX： 0172-36-2105

E-mail： chizai@cc.hirosaki-u.ac.jp

**弘前大学学長重点研究 津軽地域の未開発遺伝子資源の有効活用
キックオフシンポジウム 開催のお知らせ**

1. 日 時： 2013年12月20日（金） 15：00～17：35

2. 会 場： 弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大
8階 八甲田ホール

3. 対 象： 本学学生、教職員、一般市民の方等

4. プログラム：

- 15：00 橋本 勝（農学生命科学部）
「申請の経緯について」
- 15：15 市田 淳治
（青森県産業技術センター八戸研究所・所長）
「青森県産業技術センターのミッションと産学官連携」
- 15：25 橋本 勝（農学生命科学部）
「白神地域微生物から単離した新規抗菌物質」
- 15：45 田中 和明（農学生命科学部）
「白神山地で発見される新種の微小菌類」
- 15：55 殿内 暁夫（農学生命科学部）
「白神山地からの酵母の分離と利用」
- 16：05 < 休 憩 >
- 16：10 濱田 茂樹（農学生命科学部）
「米ぬかの新規機能性成分の探索と利用法」
- 16：20 前田 智雄（農学生命科学部）
「蔬菜園芸における新規遺伝資源の活用方法」
- 16：30 本多 和茂（農学生命科学部）
「有用植物資源の探索 - その可能性と課題 - 」
- 16：40 石川 隆二（農学生命科学部）
「ゲノム情報を利用した青森県イネ品種の改良」
- 16：50 早狩 誠（医学研究科）
「レニン-アンジオテンシン系抑制剤の新たな作用：
降圧、脂肪形成抑制、記憶保持増強、抗がん剤増感」



17:00

<休憩>

17:05 三浦 富智 (保健学研究科)
「新規物質の有用性評価と実用化に向けた課題」

17:15 前多 隼人 (農学生命科学部)
「青森の地域産物に含まれる健康機能性物質に関する研究」

17:25 工藤 重光 (地域共同研究センターコーディネータ)
「研究成果の技術移転活動について」

17:45 懇親会
会場：弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大 1階
共用コミュニティスペース
会費：2000円を予定

問い合わせ先：弘前大学農学生命科学部 橋本
TEL：0172-39-3782
E-mail：hmasaru@cc.hirosaki-u.ac.jp

「学生発未来への挑戦フォーラム」開催のお知らせ

開催趣旨

「青森県基本計画未来への挑戦」に掲げる、青森県のめざす姿を実現するために何をすべきか。大学生の視点による研究発表や、「若者の発想で青森を変えよう！」をテーマに、ゲストを交えてパネルディスカッションを行います。

1. 日時：2013年12月25日(水) 13:30～16:30

2. 場所：アウガ5階 AV多機能ホール
(青森市新町1丁目3-7)
(TEL:017-776-8800)

3. 対象：一般市民の方
(事前申込は不要です)

4. ゲストパネリスト：

角田 周 氏 (津軽地吹雪会・代表)
地吹雪体験ツアーなど地元の魅力を取り入れた地域活性化策を展開。
官公庁が認定する観光カリスマ。

中路 重之 氏 (弘前大学大学院医学研究科長・医学部長)
医学博士。専門は公衆衛生学・健康科学。現在、「地域の短命返上」、
「健康レベル向上」を目的に「岩木健康増進プロジェクト」を推進している。

5. タイムスケジュール：

13:30～13:40 開会・プロモーション



13:40～15:10 大学生からの研究発表

- ①「田舎にKOIHE」
弘前大学 李ゼミ
- ②「利雪ーんだ!!雪と生きるべしー」
弘前大学 金目ゼミ
- ③「目指すは『健康体質』～平均寿命問題に対する方策の提案～」
弘前大学 飯島ゼミ
- ④「青森県民の健康問題～青森を日本一の長寿県へ～」
弘前大学 小谷田ゼミ

15:15～16:15 パネルディスカッション
「若者の発想で未来を変えよう」

パネリスト：角田 周 氏（津軽地吹雪会・代表）

中路 重之氏（弘前大学大学院医学研究科長・医学部長）

発表者の皆さん

コーディネーター：李 永俊 氏（弘前大学人文学部・教授）

16:15～16:30 認定書交付式・閉会

6. 会場までのアクセス：

- JR青森駅から 徒歩1分
- 東北自動車道青森中央ICから車で15分
- 青森空港からバスで約40分

※ 駐車場は基本有料となりますので、ご了承ください。
(アウガ駐車場の場合、駐車券をお持ちいただくと1時間分は無料になります。)

7. 主催：弘前大学人文学部附属雇用政策研究センター

後援：青森県、陸奥新報社、東奥日報社、朝日新聞青森総局、
青森テレビ、NHK青森放送局

※ 入場無料です。

問い合わせ先：弘前大学人文学部附属雇用政策研究センター
(〒036-8560 青森県弘前市文京町1)
TEL：0172-39-3198
(平日10:15～15:00)

文部科学省「社会システム改革と研究開発の一体的推進」事業 地域再生人材創出拠点の形成
「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」
「平成25年度 第6回被ばく医療プロフェッショナルセミナー」 開催のお知らせ (再掲)

弘前大学「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」では、福島県相双保健福祉事務所 健康福

社副部長（兼）健康増進課長 小野 喜代子 氏をお招きし、被ばく医療プロフェッショナルセミナーを開催いたします。

1. 日 時： 2013年11月29日（金）18：00～19：00
2. 会 場： 弘前大学保健学研究科 6階 第24講義室
3. 講 師： 福島県相双保健福祉事務所
健康福祉副部長（兼）健康増進課長 小野 喜代子 氏
4. 演 題： 福島県における災害時の保健師活動
～相双保健福祉事務所における被災者健康支援活動を通して～
5. 参加料： 無 料
6. 申込み：
締切は過ぎておりますが、まだ申込可能ですので、参加をご希望の方は電話・FAX・メールのいずれかで下記問い合わせ先までお申込みください。



- メールの場合：メールの件名を「被ばくセミナー申込」とし、所属・職名・氏名を本文へ記入の上、下記メールアドレスまでお申込みください。
- 電話・FAXの場合：下記電話番号またはFAX番号まで、所属・職名・氏名を添えてお申込みください。

申込み・問い合わせ先： 弘前大学「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」事務局
被ばく医療総合研究所
TEL：0172-39-5521
FAX：0172-39-5514
E-mail：jm5401@cc.hirosaki-u.ac.jp

**高分子学会東北支部会員増強対策講演会
－新しいフッ素系機能性材料の展開－ 開催のお知らせ（再掲）**

1. 日 時： 2013年12月2日（月）10：00～12：00
2. 場 所： 弘前大学大学院理工学研究科1号館 2階 大会議室
3. 対 象： 本学学部学生・大学院生及び社会人一般の方
（事前申込は不要です）
4. プログラム：
 - 10：00～11：00 「フッ素エラストマーの実際」
ダイキン工業株式会社 角野 栄作 氏
 - 11：00～12：00 「フルオロアルキル基を有するhead-to-head型スチレンダイマー類の選択的合成とその性質」
島根大学医学部 教授 吉田 正人 氏

5. 参加費： 無 料

問い合わせ先： 弘前大学大学院理工学研究科 澤田 英夫
TEL：0172-39-3947
E-mail:hideosaw@cc.hirosaki-u.ac.jp

**平成25年度文部科学省 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業
弘前大学フォーラム「課題解決型学習と学生の主体的な学びⅡ」 開催のお知らせ（再掲）**

文部科学省G P「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」は、地元の企業、経済団体、地域の団体や自治体等と連携し、産業界のニーズに対応した人材育成を行う取り組みです。弘前大学は、北海道・東北地区の17大学と連携し、共通テーマ「産官学連携による地域・社会の未来を拓く人材の育成」のもと、大学独自のテーマに「地域企業と実践する課題解決型学習による主体的な学び」を掲げ、社会的・職業的に自立し、産業界のニーズに対応した人材育成の取り組みを行っています。

フォーラムでは、「課題解決型学習を通し『自己』と『地域』の成長を考える」をテーマとし、地域企業の抱える経営課題を素材に行った課題解決型学習（PBL）の成果発表を行います。

1. 日 時： 2013年12月 6日（金）15：00～17：10

2. 会 場： ベストウェスタンホテルニューシティ弘前
（弘前市大町1-1-2）

3. テーマ： 「課題解決型学習を通し「自己」と「地域」の成長を考える
～大学生のチャレンジ2013～」

4. プログラム：

（14：30～）

【受付開始】

15：00～15：05 開会挨拶 弘前大学理事（教育担当） 中根 明夫

15：05～17：05 学生による取組成果発表（学生によるプレゼンテーション）

—協力企業先（順不同）—

①弘前マルシェコンソーシアム

②道の駅ひろさきサンフェスタいしかわ

③A-FACTORY（株式会社JR東日本青森商業開発）

④あおもり観光デザイン会議

⑤株式会社 小林紙工

⑥たびすけ 合同会社西谷

⑦ブナコ漆器製造株式会社

17：05～17：10 閉会挨拶 弘前大学人文学部長 今井 正浩

18：00～

【懇親会】

会 場： ブロッサムホテル1階 BE・SIDE
（弘前市駅前町7-3）

会 費： 3,000円

5. 対 象 : 本学教職員及び学生、国公立大学・高校・企業関係者、行政関係者、一般市民 等
6. 参加費 : 無 料
7. 主 催 : 国立大学法人弘前大学
8. 参加申込 : 参加を希望される場合は、氏名・所属・電話番号・メールアドレスを記載のうえ、下記担当までeメール等でお申し込みください。
また、懇親会に出席の場合は会費が必要になります。参加を希望される際には、懇親会への出欠についても併せてお知らせくださるようお願いいたします。

申込み・問い合わせ先 : 弘前大学人文学部 地域連携人材育成事業事務局
(総合教育棟2階) 中屋敷 雅江
TEL : 0172-39-3978
E-mail : gp@cc.hirosaki-u.ac.jp

**学術講演会「リーマンゼータ関数の critical line 上の偏角に関する評価について」
開催のお知らせ(再掲)**

1. 日 時 : 2013年12月6日(金) 17:00~18:00
2. 会 場 : 弘前大学理工学部2号館 10階 1005号室
3. 対 象 : 興味がある人ならどなたでも参加可能
(事前申込は不要です)
4. 講演者 : 若狭 尊裕 氏 (名古屋大学大学院多元数理研究科D3)
5. 題 目 : 「リーマンゼータ関数の critical line 上の偏角に関する評価について」
6. 講演内容 :
本講演ではリーマンゼータ関数の critical line 上の偏角を表す関数 $S(t)$ を扱う。これはリーマンゼータの零点の個数を評価したRiemann-von Mangoldt formulaと呼ばれる式の残余項に現れ、SelbergやLittlewoodらの先行研究が大きな結果を残し、以来なかなかその結果のめざましい改良はなされていない。というのも $S(t)$ の挙動が極めて複雑なため、扱うのが困難な関数だからである。そこで $S(t)$ の周辺を探るためにその積分を考える。今回はリーマンゼータの導入の後、 m 回多重積分した $S_m(t)$ のオーダー評価や、1986年以来改良がなされなかった $S_1(t)$ のオメガ評価について紹介する。
また、大学院における研究生生活についても紹介する(講演者は今年度中に博士号の学位取得が見込まれている)。

問い合わせ先 : 弘前大学大学院理工学研究科 小松 尚夫
TEL : 0172-39-3534
E-mail : komatsu@cc.hirosaki-u.ac.jp

**2013年度弘前大学人文学部「複言語・複文化教育プロジェクト」シンポジウム
「これでいいのか、大学の外国語教育！」 開催のお知らせ(再掲)**

弘前大学フランス語ホームページ(下記URL参照)は、2008年の開設以来、地域に開かれた「学びのコミュニティ」をめざして活動し、フランス語モデルとして「複言語・複文化教育プロジ

エクト」をすすめています。その取り組みの一環として、人文学部主催（科研費共催）で、「外国語教育のあり方」について議論し、理解を深めるためシンポジウムを開催いたします。学内の教職員・学生のみならず、小・中・高・大学の教育関係者、一般市民の多数のご参加をお待ちしております。

※弘前大学フランス語ホームページ：

<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/french/>

1. 日 時： 2013年12月12日（木） 18:00～20:00

2. 会 場： 弘前大学創立50周年記念会館 みちのくホール

3. プログラム：

問題提起： 「日本人にとっての外国語教育
～言語学の立場から～」

講 演： 「大学英語教育はこの危機にいかに対処するか？」
「英語教育と第2外国語教育の改革は可能か？」
「第2外国語教育はなぜ必要か？」 + 討 論



◆講 師

山本 秀樹 : 弘前大学人文学部教授
(問題提起/進行)

森住 衛 : 桜美林大学特任教授、大阪大学名誉教授、
日本言語政策学会会長、大学英語教育学会前会長・現顧問

大木 充 : 京都大学名誉教授、元NHKテレビ・フランス語講師、
2014年度～ NHKラジオ・フランス語講師

西山 教行 : 京都大学大学院教授

4. 対 象： 教職員、学生、小・中・高・大学教育関係者、一般市民 等
どなたでも参加可能です。
※事前申込は不要です。

5. 参加料： 無 料

6. 主 催： 弘前大学人文学部（学部戦略経費「複言語・複文化教育プロジェクト」）

問い合わせ先： 弘前大学人文学部 熊野 真規子
TEL：0172-39-3975
E-mail：french@cc.hirosaki-u.ac.jp

シンポジウム「受刑者の権利保障と社会復帰に向けて」 開催のお知らせ（再掲）

裁判員制度が施行されて4年が過ぎ、青森県内でも60例近くの裁判員裁判が行われています。裁判員経験者からは、被告人に対して“更生”を期待する声が聴かれる一方、（元）被告人が、その後どのような道を歩むのかはあまり知られていません。そこで、このシンポジウムでは、とくに実刑を受けた（元）被告人の現状を知り、真の“更生”を目指すためには何が必要かを、来場された方と一緒に考えたいと思います。

1. 日 時： 2013年12月14日（土）14:00～17:00
2. 場 所： 弘前大学人文学部棟 4階 多目的ホール
（文京キャンパス内）
3. 対 象： 学内外問わず参加歓迎
（事前申込は不要です）
4. 内 容：



□報告と講演

1. 平野 潔（弘前大学人文学部）
「企画趣旨と裁判員裁判後の（元）被告人」
2. 河合 正雄（弘前大学人文学部）
「受刑者の権利保障の現状」
3. 五十嵐 弘志（民間非営利団体マザーハウス・代表、VIPプリズム・会長）
「人生は出逢いで決まる」

□質疑と意見交換

5. 主 催： 弘前大学人文学部現代社会課程法学コース・青森家庭少年問題研究会

*入場無料です。

*本シンポジウムは、平成25年度人文学部教育プロジェクト等支援経費「法的資質を育成する法教育・法学教育プロジェクト」の一環です。

*詳細については、下記URLをご参照ください。

<http://www.saibanhou.com/sympo2013d.html>

問い合わせ先： 弘前大学人文学部 平野 潔
TEL：0172-39-3199
E-mail：k-hirano@cc.hirosaki-u.ac.jp

学術講演会「素数はどのようにして生成されるか」 開催のお知らせ（再掲）

1. 日 時： 2013年12月20日（金）17:00～18:00
2. 場 所： 弘前大学理工学部2号館 10階 1005号室
3. 対 象： 興味のある人ならどなたでも参加可能
（事前申込は不要です）
3. 講演者： Omar Khadir 氏（モロッコ・ハッサン第二大学教授）
4. 題 目： 「素数はどのようにして生成されるか」
5. 概 要： 素数は、数学やその応用で基本的な役割を果たす。この講演では、素数を生成するのに使われる方法やアルゴリズムについて述べる。与えられた自然数が素数かどうかを判定する方法としての、フェルマーの小定理やミラー・ラビンの方法な

どから、最新の結果を紹介する。モロッコにおける数学や数学教育についても述べる。

問い合わせ先： 弘前大学大学院理工学研究科 小松尚夫
TEL：0172-39-3534
E-mail：komatsu@cc.hirosaki-u.ac.jp

**弘前大学資料館企画展
「白神標本保存百年プロジェクト～標本が語りだす～」 開催のお知らせ（再掲）**

弘前大学資料館では9月16日の豪雨による災害の影響により臨時休館をしておりましたが、このたび10月21日（月）に再開館いたしました。

再開館の同時企画として、「白神標本保存百年プロジェクト～標本が語りだす～」と題した企画展を開催しております。白神山地が世界自然遺産に登録されて今年で20年になります。今回の展示では、白神山地の多様な動植物を示しながら、動植物の標本を収集、保存することの意義、標本から分かること、標本を用いた研究例などを紹介するこの白神山地の多様な動植物を示しながら、動植物の標本を収集、保存することの意義、標本から分かること、標本を用いた研究例などを紹介いたします。

みなさまのご来館をお待ちしております。

1. 日 時： 2013年10月21日（木）～12月20日（木）
10：00～16：00
（土・日・祝・休日は休館です）
2. 場 所： 弘前大学資料館 企画展示室
3. テーマ： 「白神標本保存百年プロジェクト～標本が語りだす～」

問い合わせ先： 弘前大学白神自然環境研究所 准教授 中村 剛之
TEL：0172-39-3707
E-mail：dhalma@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学資料館
TEL：0172-39-3432
E-mail：jm3432@cc.hirosaki-u.ac.jp



学 内 掲 示 板

弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

問い合わせ先： 弘前大学出版会（附属図書館内）
TEL：0172-39-3168
FAX：0172-39-3171
E-mail：hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

*最新刊 第30号より、情報誌の名称が「JANU」から「国立大学」へリニューアルしました。

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<http://www.janu.jp/report/infomation.html>

第28号・第25号・第23号・第22号・第18号において、本学記事が掲載されていますので、ご覧ください。

編集担当から) 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日(毎月1日と16日の2回)の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当: 総務部広報・国際課広報・国際グループ

E-mail: jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp FAX: 39-3498、内線: 3029